

花の降る午後 (1989)

メディア 映画

ジャンル ドラマ ロマンズ

製作国 日本

色彩 Color

時間 105分

初公開日 1989/10/07

公開情報 東宝

【解説】

宮本輝の同名小説を「妖女の時代」の大森一樹が脚本・監督した作品。フレンチレストランを切り盛りするヒロインと、レストランを乗っ取ろうとする女との闘いを描く。

四年前に夫を亡くした甲斐典子は、神戸にあるフランス料理店〈アヴィニヨン〉を一人で切り盛りしていた。ある日、店の絵の裏から亡き夫の手紙を見つけた典子は、隠し子の存在を認める内容に衝撃を受ける。一方、賭博や密輸で稼ぐ荒木幸雄と美沙の夫婦が〈アヴィニヨン〉を乗っ取ろうと画策していることがわかり、典子は私立探偵の工藤に二人の調査を依頼した。だが荒木夫妻の妨害工作は日増しにエスカレートし、運転手やシェフが襲われ怪我を負い、店は一時閉店に追い込まれてしまうのだった。

【クレジット】

監督	大森一樹
製作	角川春樹
プロデューサー	三堀篤 瀬戸恒雄
原作	宮本輝
脚本	大森一樹
撮影	姫田真佐久
美術	桑名忠之
編集	西東清明
音楽	加藤和彦
音楽プロデューサー	石川光
助監督	渡邊孝好
出演	古手川祐子 高嶋政宏 桜田淳子 夏夕介 高品格 梅宮辰夫 小林昭二 古尾谷雅人